

和合せいれの里だより



2024年5月 発行
 和合せいれの里 和合愛光園
 〒433-8125 浜松市中央区和合町555番地
 TEL 053-478-0800 FAX 053-476-6511



和合せいれの里は、利用者やご家族、地域の方々の「やりたいこと」とサービス提供主体となる我々の「やりたいこと」を合致させることができるよう、各事業所の特性や能力を繋ぎ合わせ、その方のライフステージに応じた適切な支援を切れ目なく提供できる体制を構築し、和合せいれの里がこの地にある意義を見出し続けていきたいと考えております。

引き続き、和合せいれの里は、職員一人ひとりがより一層の成長を遂げることで、ご利用者、ご家族、地域の皆様から求められる社会福祉施設への進化を続けます。

2024年度も変わらぬご理解、ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

今年度は、1月の浜松市行政区再編、4～6月の介護・障害医療の報酬改定等に伴う大きな変化の波が到来します。そして、その変化のスピードも加速度を増すことが予想されるため、和合せいれの里の全事業所は、今まさに発生している地域課題のみならず未来を見据えたニーズの変容を想定し、それぞれのニーズに適合するサービスを提供できるよう、地域実情を面的かつ立体的に把握していく必要性を強く感じるとともに、それら地域ニーズに応え得る質の高いサービスを提供できる組織へと成長を続けてまいります。

薫風の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年5月から新型コロナウイルス感染症の位置づけが「新型コロナウイルス感染症等感染症(いわゆる2類相当)」から「5類感染症」になり、感染対策に取り組みながらも日常生活上の規制が緩和され人的交流の機会が戻り始めました。

そのような状況下、和合せいれの里では、地域実情に応じ、前年度から計画をしていた「聖隷こども発達支援センター」和合」を9月に、10月には浜松市地域福祉計画を見据え「聖隷福祉総合相談センター」和合」と、続けざまに新規事業の開設に至りました。このように昨年度は、今までの価値観を刷新し、より地域に求められる新たな機能を獲得していくことを推し進めた1年でした。



和合せいれの里
 総園長 西折 智浩

《新年度 ご挨拶》

よろしくおねがいますっ//

新人・異動
 職員紹介

ミヤザキ ヒロミツ
宮崎 弘光
 和合愛光園

イノウエ ケイコ
井上 佳子
 聖隷こども
 発達支援センター和合

アオヤギ ユウダイ
青柳 雄大
 和合愛光園

ミヤモト ヨシヒサ
宮本 佳久
 和合愛光園1号館3階

フジタ タクヤ
藤田 卓矢
 和合愛光園
 和合サテライト

オノ レイナ
小野 玲奈
 和合愛光園1号館3階

キムラ ジュンヤ
木村 潤哉
 聖隷トライサポート
 和合

アンドウ トキマサ
安藤 時将
 訪問看護ステーション
 住吉

ヨネザワ アミ
米澤 愛美
 訪問看護ステーション
 住吉

ヒラテ メグミ
平出 萌
 浜松市中障がい者
 相談支援センター

フジタ トモコ
藤田 知子
 浜松市中障がい者
 相談支援センター

ハカマタ リキ
袴田 力
 和合愛光園1号館2階

タカガキ マオ
高垣 真生
 和合愛光園1号館3階

ウツヤマ ユウキ
宇津山 裕樹
 和合愛光園1号館3階

アツミ コウキ
渥美 皇輝
 和合愛光園2号館4階

ムラマツ ソウタ
村松 綜太
 和合愛光園2号館2階

ヒビヤ ナオミ
日比谷 直美
 和合愛光園2号館3階

ウシダ コウヘイ
牛田 航平
 みるとす

タバタ ケイコ
田畑 敬子
 あすなる

スズキ アサコ
鈴木 麻子
 あすなる

マツモト イブキ
松本 伊吹
 食事サービス室

ウシズ イクコ
鷲巣 育子
 はなえみ和合

和合せいれの里 各福祉サービスからの便り

在宅・相談サービス

聖隷ヘルパーセンターに有償ケアの相談が入ってきました♪(コロナ禍が明けたと実感)

ご家族から

「今、愛光園に父親がいるのですが、孫の結婚式に参加してもらいたい」
「当日は式場の準備もあるのでタクシーで送り届けて欲しい」

- ①事前打ち合わせ(有償契約) ②当日お部屋までお迎え
 - ③タクシーで家族のところに送り届ける
- 大きなトラブルもなく安心した表情で結婚式に参加されていたとお話を頂いております。ヘルパーとしても素敵な式に関わることができてとても嬉しかったです。皆さんもこんな利用はできるかな?など、お気づきの点がございましたらお気軽にご相談ください。



障害児福祉サービス

2023年10月に開設した聖隷こども発達支援センター和合です。開設から半年が経過し、約100名のこどもたちとともに2024年度をスタートすることができました。

ご家庭の子育て観に寄り添いながら、毎日いろんな表情をみせてくれるこどもたちと一緒に、楽しい時間を積み重ねていきたいと考えています。

今年度は、こども園のこどもや高齢者などたくさんの方との関わりを持ち、こどもたちの豊かな体験につながるよう活動を工夫していく予定です。



障害者福祉サービス

あすなろは障害福祉総合支援法に基づく生活介護事業所です。生活介護とは食事や排せつ入浴といった日常生活の支援、生活に必要な機能維持の為にリハビリ、レクリエーションや趣味活動、仲間作りなど様々な目的を持った方々が来られる通所サービスです。

日常生活やレクリエーションや陶芸などの創作活動、季節のイベント等ご利用者に合わせた活動を行っております。活動からご利用者一人ひとりにとっての幸せが何かを探せるように取り組んでまいります。

4月は愛光園の桜が満開でしたのでご利用者と桜並木をお散歩しました。今年はタイミングも良く花見をする事ができました。「ここに来てよかった」と思える場所づくりを目指しています。



入居サービス

《園長 着任ご挨拶》



和合愛光園
園長 宮崎 弘光

このたび、「軽費老人ホーム もくせい」の里から「和合愛光園」に異動して参りました宮崎弘光と申します。私は、21年前に障害者支援施設とすると開設準備のため、3か月間和合愛光園で働いた経験があります。今回、再び働く機会を得て、大きな喜びを感じております。

さて、2024年度は介護報酬の改定、障害福祉サービス等の報酬改定がなされました。また、事業を進めるにあたって、物価高騰、世界情勢の不安定化、介護人材不足等様々な困難がありますが、和合せいれの里の施設理念である、「常に利用者の視点にたち、質の高い適切な支援を総合的に提供する(抜粋)」に尽力して参りたいと思っております。

最後に、和合愛光園は四半世紀の歴史を有し、浜松市における福祉向上の一端を担ってきたと思っております。これからも、更に充実した施設として地域の皆様が安心してご利用いただけますよう尽力して参ります。皆様、よろしくお願ひ申し上げます。



《新副園長挨拶》



和合愛光園
副園長 青柳 雄大

皆様はじめまして。この度、和合愛光園副園長を拝命いたしました青柳雄大(あおやぎ ゆうだい)と申します。私は、聖隷福祉事業団に介護職として入職し聖隷一筋で務めてきました。これまで、救護施設や重症心身がい患者施設、障がい者就労支援施設、法人本部人事企画部、生活困窮者自立支援施設にて生活・相談支援、採用・人材育成等に関わらせていただきました。

「心に寄り添い向き合い続ける」を大切に和合せいれの里をご利用されている皆様、地域の皆様、職員の皆様のお役に立てるよう一生懸命頑張ります。

ちなみに、私は栃木県出身です。話をしていると語尾が上がる話し方や方言が出る場合がありますので、そのようなときには優しく見守っていただけると嬉しいです。同じ北関東出身の方がおりましたら声をかけて下さい。皆様どうぞよろしくお願ひいたします。

